

記入例 KPR-A48-KS

系統連系技術要件検討書（低圧配電線連系用）

資料1-1

連 系 線				連 系 設 備				発 電 設 備 の 種 別				逆 潮 流		申請者													
変圧器柱：線号 引込柱：線号				逆変換装置(認証：④[No.MP-0164]・無) 交流回転機(同期・誘導)				・太陽光・風力・水力・燃料電池・				・④・無															
構内事故対策用	ガイドライン基準			申請内容				チェック結果				ガイドライン基準			申請内容				チェック結果								
	保護継電器			申請継電器				備考				電力容量			最大受電電力 (受給最大電力) kW												
	種類・相数											原則：50kW未満			契約電力 kW												
	逆潮流有 逆潮流無 単二 単三 三相			デバイスNo. 相数 制御CB				適・否							発電機出力 kW												
電力系統事故対策用	OCR-H			OC(2・3相)付 ELCB(有・無)				・過電流保護要素付漏電遮断器(OC付ELCB)が設置されていれば、OCR-H、OCGRは省略可				電圧変動			常時電圧変動 101±6V以内				V(別途検討書による) 自動電圧調整装置(④無)								
	OCGR			OC(2・3相)付 ELCB(有・無)				・中線の過負荷のおそれがない場合は、ELCB中性線のOCは省略可				瞬間電圧変動 10%以内			<del>別添検討書による</del>												
								・インバータ内蔵の場合は、個別に機能確認ができることを確認する				電圧フリッカ			<del>別添検討書による</del>				・風力発電設備の連系時、検討								
												短絡容量			他のお客さまの遮断容量を上回らないこと				<del>別添検討書による</del>				・一般的な低圧お客さま遮断機の遮断容量は1500A以上(交流回転機連系時、検討要)				
発電機事故対策用	DSR			27				ゲートブロック連系リレー解列				力率			逆潮流有り：85%以上 逆潮流無し：95%以上 (進み力率でないこと)				95 %				・逆潮流の有る場合、電圧上昇抑制上やむを得ない場合は、80%まで可				
	(UVR)			(1)(2)(3)								高調波			総合電流歪率5%以下 各次電流歪率3%以下				総合電流歪率 5 % 各次電流歪率 3 %				・逆変換装置本体の高調波流出電流歪率(定格出力の低出力、中出力、高出力)をいい、メーカーの社内試験結果等でチェックする				
	単独運転 受動的 検出機能 方式											保護継電器 整定			電力側継電器と十分協調をはかること				別添整定一覧表による								
												保護継電器 プログラム			制御電源：直流電源であること				別添継電器プログラム図、制御電源回路図による								
単独運転防止対策用	OVR			59				ゲートブロック連系リレー解列				混触防止対策			逆変換装置の交流出力側に変圧器又は直流検出器を設置する				直流分流出検出 検出レベル 240.0 mA 検出時間 0.5 秒								
	UVR			27				ゲートブロック連系リレー解列				運転・保守 運用の協調			系統運用の協調をはかる				別添系統連系に係る覚書を締結します				・運転等に関する覚書を締結する				
	UFR			95L				ゲートブロック連系リレー解列				遮断装置のインターロック			電力系統停止中および復電後一定時間の遮断器投入阻止				復電後の一定時間 ( 300 秒) は遮断器が投入されない				・復電後の一定時間とは、150～300秒とする				
	OFR			95H				ゲートブロック連系リレー解列																			
自立運転	受動的 方式			周波数変化率検出方式				ゲートブロック連系リレー解列																			
	能動的 方式			ステップ注入付周波数フィードバック方式				ゲートブロック連系リレー解列																			
	逆充電 検出機能			UPR 1 2 3																							
	UVR 1 2 2																										
自立運転 ④・無				保護継電器プログラム図、制御電源回路図等による				機械的開閉装置 → 機械的 又は 手動開閉装置 →				・系統への逆充電および非同期投入防止機能を有すること															
屋外開閉器の設置				有・無																							
PT CT P・CTの設置				単線結線図による																							
FRT 事故時運転継続要件				適用 ④・無																							